

第3次健康くまもと21基本計画 について

第3次健康くまもと21基本計画（概要）

1 策定の背景と趣旨

国の「健康日本21」に対応し、本市では、市民の健康づくりに関する目標と方向性を明確にする「健康くまもと21基本計画」を策定しており、令和5年度に国が策定した次期プランを受けて、本市の同計画を新たに策定するものです。なお、次期計画においては、乳幼児から高齢者までのライフコース全体にわたって総合的に健康づくりを推進するため、「健康増進計画」、「食の安全安心・食育推進計画」、「歯科保健基本計画」を一体化して策定します。

2 計画の期間

令和6年度(2024年度)～令和17年度(2035年度)の12年間

※健康日本21(第3次)の中間評価にあわせて見直しを行うとともに、4年毎に見直す本市総合計画と政策の整合を図ります。また、社会情勢の変化等、必要に応じて見直しを行います。

3 基本理念・基本方針等(目指すもの・全体目標など)

(1)めざすもの(理念)

「全ての市民が生涯を通して住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせる持続可能なまちの実現」

※第2次計画は、「全ての市民が生涯を通して、住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちを市民と協働でつくる。」

・国の健康日本21(第3次)では「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとしていることを踏まえ、乳幼児期から高齢期までの健康を保持・増進するために、健康なまちづくりを総合的に推進していきます。

(2)全体目標 『健康寿命の延伸』

全ての市民が生涯を通して住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせる持続可能なまちの実現のため、個人の行動と健康状態の改善に加え、個人をとりまく社会環境整備や、その質の向上を通じて健康寿命の延伸を実現します。

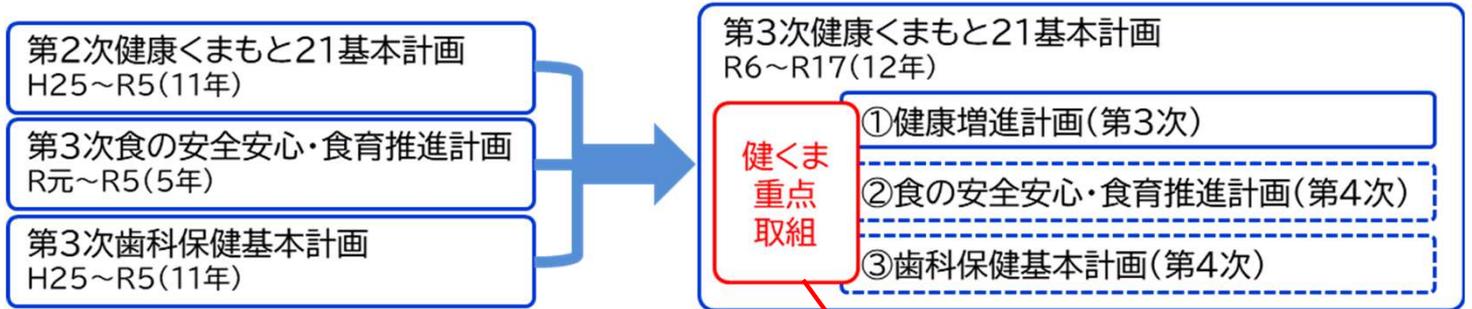
指標名	基準値	目標値
健やかにいきいきと暮らしていると感じる市民の割合	48.4% (令和4年度)	65.0% (令和17年度)
自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合	66.4% (令和4年度)	82.0% (令和17年度)
日常生活に制限のない期間の平均(健康寿命)	熊本市の健康寿命 男性72.57年、女性74.54年 (令和元年度) 熊本市の平均寿命 男性82.30年、女性88.30年 (令和2年度)	平均寿命の 増加分を上回る 健康寿命の増加 (令和17年度)

(3)全体方針 ①健康意識の醸成 ②健康分野における地域コミュニティづくり

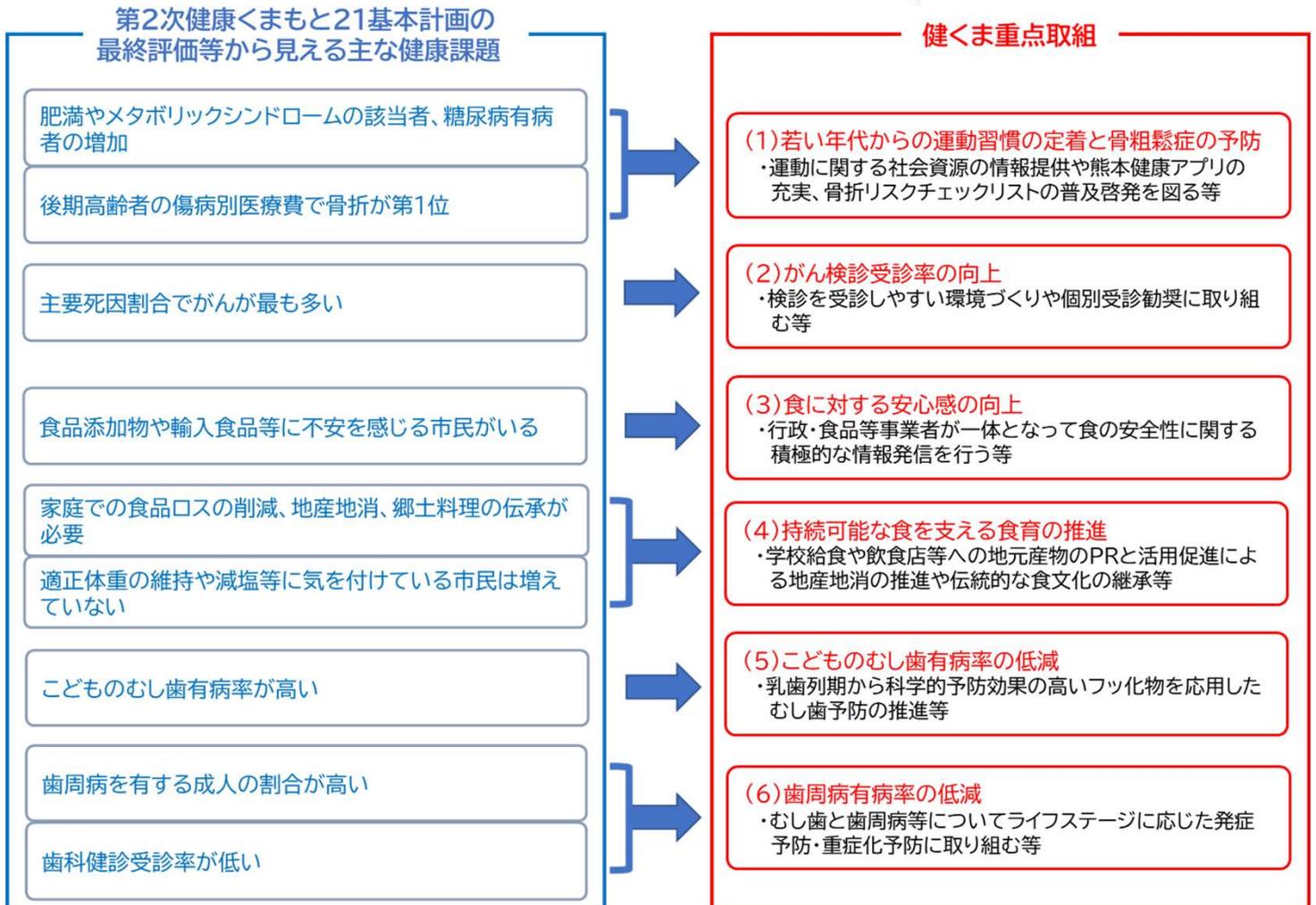
第3次健康くまもと21基本計画（概要）

4 重点取組

関連する3つの計画を一体的に策定するにあたり、それぞれの計画から本市の重要な課題に対応する取組を抽出し、重点的に取り組むものとして新たに設定しました。



平均寿命の増加よりも健康寿命の増加が小さいという本市における健康寿命の現状に関する要因となると考えられる指標の最終評価や健康データから見える主な健康課題に対応して、「健くま重点取組」を設定しました。



5 施策の展開

① 健康増進計画（第3次）

1 生活習慣の改善と環境づくり

- (1)食の安全安心の確保と食育の推進
- (2)身体活動・運動の促進
- (3)休養の促進
- (4)飲酒の抑制
- (5)禁煙の支援と受動喫煙防止
- (6)歯・口腔の健康づくりの推進

2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

- (1)がん予防等対策
- (2)循環器疾患対策
- (3)糖尿病対策
- (4)CKD(慢性腎臓病)対策

3 健康になれるコミュニティづくり

- (1)校区単位の健康まちづくり
- (2)健康づくりを支えるボランティアの育成・支援
- (3)企業・大学等の健康づくり活動の促進
- (4)こころの健康づくり

4 ライフコースアプローチをふまえた健康づくり

- (1)こどもの健康づくり
- (2)女性の健康づくり
- (3)働き盛り世代の健康づくり
- (4)高齢者の健康づくり

②(1) 食の安全安心・食育推進計画（第4次）

【食の安全安心の確保】

1 生産・流通・消費の各段階における食品の安全性の確保

- (1)生産段階における食品の安全性の確保
- (2)製造、加工、流通、販売の各段階における食品の安全性の確保
- (3)食品などの検査
- (4)消費段階における食品の安全性確保
- (5)熊本の食に関する文化や製品の振興に向けた安全性の確保

2 食品等事業者の自主衛生管理の推進

- (1)HACCPの定着

3 国・県・他市町村・庁内関係部署及び食品関係機関との連携

- (1)健康危機管理体制の充実及び強化
- (2)食品の安全性確保のための連携

4 消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

- (1)市民意見の施策への反映
- (2)市民自らが食の安全性を判断して選択できる環境の充実
- (3)食に関する相談窓口の充実
- (4)食品等事業者との情報の共有

5 食育を通じた食の安全安心の確保（共通）

- (1)災害に備える食を含めた、食の安全性や栄養等に関する理解の促進

②(2) 食の安全安心・食育推進計画（第4次）

【食育の推進】

1 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

- (1) 家庭における食育の推進
- (2) 学校、保育所等における食育の推進
- (3) 地域における食育の推進

2 健康意識の程度に関わらず誰もが自然に健康になれる食環境づくり

- (1) 健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信
- (2) 食生活改善をサポートする人材の育成
- (3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進

3 市民運動としての食育の展開

- (1) 市民協働による食育運動展開
- (2) 食育支援団体のネットワーク整備
- (3) 新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進

4 持続可能な食を支える食育の推進

- (1) 生産者と消費者の交流促進
- (2) 地産地消の促進
- (3) くまもとの食文化の伝承
- (4) 食の循環や環境を意識した食育の推進

③ 歯科保健基本計画（第4次）

1 ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健の推進

- (1) 歯科疾患の予防
- (2) 口腔機能の獲得・維持・向上

2 定期的に歯科検(健)診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進

- (1) 障がい児(者)
- (2) 要介護高齢者
- (3) 歯科検(健)診受診に向けた情報発信

3 誰もが等しく歯と口腔の健康づくりができる社会環境の整備

- (1) 多様な関係者(保健・医療・福祉・労働衛生・教育・食育等)との協働・協力の強化による総合的な歯と口腔の健康づくりに関する知識を有する人材の育成と支援
- (2) 災害時における歯科保健対策

6 推進体制(計画の進行管理等)

毎年、進捗状況の調査・分析・評価を実施し、健康くまもと21推進会議(食の安全安心・食育部会、歯科保健部会、がん部会)に報告し検証します。

第3次健康くまもと21基本計画
(第5章 熊本市健康増進計画部分)
の進捗管理について

○健康くまもと21基本計画の進捗管理

I 全体

(1)全体目標に関する成果指標の今回(令和6年度時点判明)と前回(令和5年度時点判明)の比較

改善	2	維持	0	悪化	0	合計	2	改善率	100.0%
----	---	----	---	----	---	----	---	-----	--------

(2)各施策に関する全成果指標の今回(令和6年度時点判明)と前回(令和5年度時点判明)の比較

改善	34	維持	4	悪化	19	合計	57	改善率	59.6%
----	----	----	---	----	----	----	----	-----	-------

(1)全体目標に関する成果指標の動向

○全体目標に関する成果指標のうち2つ(健やかにいきいきと暮らしていると感じる市民の割合、自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合)は両方とも改善している。これはコロナ禍でできなかった健康増進活動が回復したものと考えられる。

(2)各施策に関する全成果指標の動向

○数値を更新した57項目の成果指標のうち、約60%の34項目が改善している状況。

○「1生活習慣の改善と環境づくり」で25項目中15項目の改善(改善率60.0%)、「2生活習慣病の発症予防と重症化予防」で21項目中11項目(改善率52.4%)、「3健康になれるコミュニティづくり」で6項目中5項目(改善率83.3%)、「4ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」で5項目中3項目(改善率60.0%)改善された。

※注):成果指標は令和6年度時点の数値が把握できたもののみ比較を行っています。

II 各施策

1 生活習慣の改善と環境づくり

成果指標の今回(令和6年度時点判明)と前回(令和5年度時点判明)の比較

改善	15	維持	2	悪化	8	合計	25	改善率	60.0%
----	----	----	---	----	---	----	----	-----	-------

(1) 食の安全安心の確保と食育の推進

<p>【関係団体】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要 (施策1:食育への理解と食育活動への実践) <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の関係者を対象とした食育研究会開催。学生を対象としたレシピコンテストを実施【尚絅大学】 ・加盟園保育関係者対象研修実施。保育士会・給食部会による研修会実施【熊本市保育園連盟】 ・ボディビルダーでパーソナルコーチの元田雄己氏による勉強会を城南小で開催【熊本市PTA協議会】 ・子ども食堂へ野菜の提供【熊本市農業協同組合】 (施策2:食育活動の実践のための食環境整備) <ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善を实践する「食生活改善推進員養成講座」への協力と、「すこやか食生活改善講習会」の実施【熊本市食生活改善推進員協議会】 </p> <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の児童、生徒を対象にした郷土料理教室の開催と、各区健康まつり等での郷土料理の試食提供や展示等を通しての普及啓発【熊本市食生活改善推進員協議会】 </p>
<p>【行 政】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要 (施策1:食育への理解と食育活動への実践) <ul style="list-style-type: none"> ・乳児・幼児のための食育講座、大学生のための食育実践講座、すこやか食生活改善講習会、食育月間等における啓発、ホームページ「くまもとの食」での情報提供等を実施【健康づくり推進課】 ・崇城大学で野菜ばかりを実施し若者に野菜摂取の啓発を実施。図書館(室)と連携して食育月間と野菜をテーマにした企画展を開催。西区フェスタにおいて食育について啓発を実施。高校や専門学校の学生を対象に郷土料理の調理実習及び講話を実施。防災食育の啓発を実施【西区保健こども課】 ・離乳食のすすめ方や郷土料理のレシピについてホームページ等にて情報提供を実施【東区保健こども課】 ・市立保育園給食を食育媒体とした年齢・発達に応じた食育活動を年間を通じて実施。健全な食生活・乳幼児期の食育等に関する保護者への啓発を実施。和食の日に合わせた取組として、和食メニューの提供、だしの飲み比べや鰹節削り体験等を実施【保育幼稚園課】 (施策2:食育活動の実践のための食環境整備) <ul style="list-style-type: none"> ・栄養成分表示の啓発、熊本市こどもの食育推進ネットワークの構築等を実施【健康づくり推進課】 ・スーパーマーケットに野菜摂取のポスター及びレシピ等を配付し啓発を実施【西区保健こども課】 ・幼児健診や健康教育で、栄養成分表示の活用法などの普及啓発を実施【東区保健こども課】 </p> <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生とその保護者対象に、持続可能な食に貢献する熊本の郷土料理を調理実習やイベントでの啓発を通して次世代へ伝承する「いきなり団子プロジェクト」を実施【健康づくり推進課】 ・HACCPに沿った衛生管理を実施していることの見える化を目的に、食品等事業者「食の安全宣言」を提出してもらい、その事業者に対しステッカーを交付する事業を実施【食品保健課】 </p>

(2)身体活動・運動の促進

<p>【関係団体】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要 (施策1:運動習慣の定着化に向けた取組の推進)</p> <ul style="list-style-type: none">・熊本市内スポーツクラブと提携し、健康支援プログラムのオンライン配信【熊本県看護協会】・運動機会の充実のための市民参加型の熊本市民スポーツフェスタを開催【熊本市スポーツ推進委員協議会】・事業所向けセミナー(出前講座)の実施【全国健康保険協会熊本支部】 <p>(施策2:運動に取り組みやすい環境づくり)</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツ推進委員の資質向上のため研修会を開催【熊本市スポーツ推進委員協議会】
<p>2 令和6年度からの新たな取組</p> <p>—</p>
<p>【行 政】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要 (施策1:運動習慣の定着化に向けた取組の推進)</p> <ul style="list-style-type: none">・メディカルフィットネス施設・スポーツクラブ等を記載した「くまもと運動資源マップ」を作成し、熊本市医師会会員へ配布。親子・3世代向けのウォーキング教室を開催【健康づくり推進課】・マラソンを通じたスポーツ振興と健康づくりに資するため、熊本城マラソンを開催【イベント推進課】・市民総参加型の熊本市民スポーツフェスタを開催【スポーツ振興課】・身体活動(生活活動、運動)や熊本健康アプリ等についての普及啓発【西区保健こども課】 <p>(施策2:運動に取り組みやすい環境づくり)</p> <ul style="list-style-type: none">・健康ポイント事業を共同運用する連携市町村計16市町村で運用。新たに、地域と連携したGPSによるスタンプラリーや新規の抽選会等を実施し、インセンティブの充実に取り組んだ【健康づくり推進課】・スポーツ推進員の資質向上のため研修会を開催【スポーツ振興課】
<p>2 令和6年度からの新たな取組</p> <p>—</p>

(3)休養

【関係団体】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:「睡眠」の重要性の理解と実践)

・事業所向けセミナー(出前講座)の実施【全国健康保険協会熊本支部】

(施策2:休養がとれるための環境づくり)

・事業場を対象にメンタルヘルス教育を実施【熊本産業保健総合支援センター】

・ホームページやメールマガジンにて、ストレス対処法等の情報提供を実施【熊本産業保健総合支援センター】

2 令和6年度からの新たな取組

—

【行 政】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:「睡眠」の重要性の理解と実践)

・睡眠に関するパンフレットをホームページに掲載【こころの健康センター】

(施策2:休養がとれるための環境づくり)

・メンタルヘルスに関することについて電話相談、来所相談を実施【こころの健康センター】

2 令和6年度からの新たな取組

—

(4)飲酒

<p>【関係団体】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要 (施策1:適正飲酒の普及啓発) ・高齢と障がいのネットワーク会の中で「アルコール依存について」の研修会を開催【中央区代表】 (施策2:未成年者への情報提供) ・学校薬剤師が各担当校にて未成年者の飲酒について講演【熊本市薬剤師会】 (施策3:妊娠中や授乳中の飲酒の防止) —</p> <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組 —</p>
<p>【行 政】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要 (施策1:適正飲酒の普及啓発) ・飲酒を含む依存症に対する普及啓発として、パンフレットの配布やホームページに掲載。また、こころの健康づくり講演会、依存症家族教室や依存症当事者グループプログラムを実施【こころの健康センター】 (施策2:未成年者への情報提供) ・小・中学校、高等学校の薬物乱用防止教室の中で、未成年の飲酒の危険性、適正飲酒について情報提供・普及啓発を実施【こころの健康センター】 ・中学生対象の講演会において妊娠・授乳中の飲酒の害について情報提供を実施【西区保健こども課】 ・未成年の喫煙、飲酒の影響を考える機会として健康教育を実施(中学校)【中央区保健こども課】 (施策3:妊娠中や授乳中の飲酒の防止) ・親子(母子)健康手帳交付時等に妊娠・授乳中の飲酒を行わないよう保健指導を実施【各区保健こども課】</p> <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組 —</p>

(5)喫煙

<p>【関係団体】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要</p> <p>(施策1:禁煙の支援)</p> <ul style="list-style-type: none">・熊本シティエフエム放送にて「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」のテーマでアナウンスした【熊本県看護協会】・研修会を開催し禁煙指導薬剤師を養成、継続研修【熊本市薬剤師会】・県歯科医師会と連携、協会けんぽスモールチェンジ生活支援プログラムにおいて、歯周病の最大のリスク因子である喫煙について、歯科保健指導のなかで禁煙指導を実施【熊本県歯科衛生士会】・加入者に特定保健指導で喫煙にかかる指導・情報提供。事業所向けセミナーの実施。熊本県(脳卒中・心臓病等総合支援センター)との共催で企業向けセミナーを実施【全国健康保険協会熊本支部】 <p>(施策2:受動喫煙防止)</p> <p>—</p> <p>(施策3:妊娠中・授乳中～未成年の喫煙防止)</p> <ul style="list-style-type: none">・学校薬剤師が各担当校にて未成年者の喫煙防止教育を実施【熊本市薬剤師会】 <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組</p> <ul style="list-style-type: none">・喫煙と歯周病との関連を啓発。歯周病治療への取組【熊本市歯科医師会】
<p>【行 政】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要</p> <p>(施策1:禁煙の支援)</p> <ul style="list-style-type: none">・世界禁煙デーに合わせ、禁煙手帳や健康ポイントによる禁煙チャレンジを周知。熊本市薬剤師会の協力のもと、禁煙支援薬局における相談受付を実施。【健康づくり推進課】・サロン等でCOPD・喫煙の啓発【西区保健こども課】 <p>(施策2:受動喫煙防止)</p> <ul style="list-style-type: none">・新規開業した飲食店向けに受動喫煙防止対策に関する調査を実施し、受動喫煙防止対策パンフレットも送付。受動喫煙防止対策専用コールセンターにて受動喫煙に関する相談を受付【健康づくり推進課】・受動喫煙対策が講じられた分煙施設を設置する民間企業に対し、設置費助成実施【生活安全課】・幼児健診等の場を活用し、禁煙・分煙の啓発実施【西区・南区・北区保健こども課】 <p>(施策3:妊娠中・授乳中～未成年の喫煙防止)</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもなど配慮が必要な人が近くにいる場所で喫煙しないようホームページ周知【健康づくり推進課】・結婚・子育て応援サイトのQ&Aに妊娠期の過ごし方や健康管理について情報掲載【こども支援課】・妊婦歯科健診・歯科健康相談時に、妊婦に対して、喫煙や受動喫煙による歯周病が与える母子への健康被害の影響、早産や低体重児出産等の防止等について啓発【各区保健こども課】 <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組</p> <p>—</p>

(6) 歯・口腔の健康

【関係団体】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:子どものむし歯や歯肉炎の予防)

- ・学校薬剤師が各担当校にてフッ化物洗口の相談、助言【熊本市薬剤師会】
- ・特別活動の学級活動において、むし歯予防や歯周病予防等についての学習を行った。担任と養護教諭が連携して授業を実施し、児童の理解を深めた。また、3年生以上の体育科保健領域において、むし歯予防や歯周病予防等を含め、健康や安全に関する内容を学年に応じて学習した。新型コロナウイルス感染症の5類移行後にフッ化物洗口を再開した学校が増えた【熊本市小学校校長会】

- ・ショッピングモールにて、むし歯予防や歯肉炎予防についての啓発活動を行った。小学校におけるフッ化物洗口の取り組みに協力し、学童期におけるむし歯予防の推進を図った【熊本市8020健康づくりの会】

(施策2:歯周疾患の予防)

- ・各薬局にて処方医薬品の歯への副作用の有無を聞き取り歯科受診勧奨【熊本市薬剤師会】
- ・「いい歯の日」に合わせた市役所ロビーでのパネル展示会場にて、推進員が来庁者へ歯と口の健康づくりに関する情報提供や歯科健診の重要性の啓発に努めた【熊本市8020健康づくりの会】

(施策3:歯の喪失防止)

- ・8020運動を目指すために、幅広い年齢層に向けての啓発に活用できる新たなリーフレットを作成。噛むことの大切さを伝えるための動画を用いて市民に対する歯科啓発を行った【熊本市8020健康づくりの会】

2 令和6年度からの新たな取組

- ・フッ化物塗布事業、節目年齢歯科健診事業、後期高齢者歯科口腔健診への協力【熊本市歯科医師会】

【行 政】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:子どものむし歯や歯肉炎の予防)

- ・歯科健診・歯科健康相談を実施し、希望者に対してフッ化物塗布を実施。委託によるこどものフッ化物塗布を開始し定期的にフッ化物塗布を受けられる環境を整備、歯っぴー事業を実施【健康づくり推進課】

(施策2:歯周疾患の予防)

- ・節目年齢歯科健診実施に際して、全対象者に個別勧奨通知を発送。妊産婦健康相談時に歯周病によって早産・低出生体重児出産のリスクが高まることを伝えた【健康づくり推進課・各区保健こども課】

- ・企業等の従事者を対象に口腔ケア及び生活習慣病等に関する啓発事業を実施【南区保健こども課】

(施策3:歯の喪失防止)

- ・大学の文化祭及び区役所で歯科健診、歯科相談及び啓発を実施【健康づくり推進課・各区保健こども課】

2 令和6年度からの新たな取組

- ・節目年齢歯科健診について対象者に20歳と30歳を追加。節目年齢歯科健診、妊婦歯科健診及びこどものフッ化物塗布において熊本県歯科医師会とも契約し熊本市外の歯科医院でも受診可能とした。子育て応援アプリにおいて対象者に妊婦歯科健診等の情報発信を実施【健康づくり推進課】

2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

成果指標の今回(令和6年度時点判明)と前回(令和5年度時点判明)の比較

改善	11	維持	1	悪化	9	合計	21	改善率	52.4%
----	----	----	---	----	---	----	----	-----	-------

(1) がん予防等対策

<p>【関係団体】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要 (施策1:発症予防) ・各歯科診療所における軟組織審査の継続【熊本市歯科医師会】 ・「結核・ガン予防キャンペーンヘルシーくまもと」に参加【熊本県歯科衛生士会】 ・産業保健スタッフ等対象の生活習慣病、禁煙に関する研修会を実施【熊本産業保健総合支援センター】 (施策2:早期発見) ・加入者本人を対象に特定健診にがん検診項目を加えた「生活習慣病予防健診」等を実施【全国健康保険協会熊本支部】 ・前年度の受診者や精検未受診者に対し受診勧奨を実施。検診ごとに専門医で構成した委員会を設置し協議検討を実施。胃がん内視鏡検診において精度管理研修会を開催【熊本市医師会】 ・口腔外科疾患に関する歯科医師向けセミナーの開催【熊本市歯科医師会】 ・「まちの保健室」の活動で生活習慣病予防について情報提供を行い、がん検診受診勧奨【熊本県看護協会】 ・定期健康診断の有所見者に対する医師の面接指導や保健指導等を実施【熊本産業保健総合支援センター】 (施策3:情報発信・相談支援) ・看護職を対象とした研修会を通し患者や家族を支援【熊本県看護協会】 ・治療と仕事の両立支援の啓発・支援。がんに関する様々な情報を発信【熊本産業保健総合支援センター】</p> <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組 (施策1:がん予防) ・熊本市と協力して幅広い年齢層の受診者を対象にわかりやすいがん啓発情報を発信し、受診機会の喪失を防ぐべく、より効果的な受診勧奨を実施し、受診率向上を目指す【熊本市医師会】 ・節目年齢歯科検診における対応。口腔癌の啓発と早期発見への取組【熊本市歯科医師会】</p> <p>3 感染症に配慮した新たな取組 ・受診者に対する感染リスクの注意喚起とともに感染状況を把握し対策を実施【熊本市医師会】</p>
<p>【行 政】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要 (施策1:発症予防) ・ホームページにて「がんを防ぐための新12か条」を周知【健康づくり推進課】 (施策2:早期発見) ・胃、肺、大腸、子宮頸部、乳房の各種がん検診及び胃がんリスク検査を実施。連携協定締結企業と連携し、がん検診パンフレット及び啓発カードを配布。がん検診対象者へ個別受診勧奨はがきを送付。市政だよりやSNS、ラジオ等によりがん検診の受診を啓発【健康づくり推進課】 ・地域の会議や幼児健診等においてがんに関する知識の普及やがん検診受診を啓発【各区保健こども課】 (施策3:情報発信・相談支援) ・がん相談ホットライン設置のほか、がんサロンの定期開催や市民講演会等を開催。熊本県がん診療連携協議会の部会やがんサロンネットワークくまもと理事会等に参加し相互に情報共有【医療対策課】</p> <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組 (施策2:がん医療・がんと共生) ・令和6年度より「アピアランスケア推進事業」を開始し、医療用ウィッグ等の購入費の助成だけでなく、がん相談窓口やがんの情報提供を実施【医療対策課】</p>

(2) 循環器疾患対策

【関係団体】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:発症予防)

・熊本シティエフエム放送健康サロンにて心不全のテーマでアナウンス。「まちの保健室」の活動で、生活習慣病予防について情報提供及び健康相談を行った【熊本県看護協会】

・各薬局にてCKD等の疾患に関する資料を設置、予防についての説明、相談を受付【熊本市薬剤師会】

(施策2:早期発見)

・各薬局で医療機関の受診が必要と思われる方への受診勧奨を実施【熊本市薬剤師会】

(施策3:重症化防止)

—

2 令和6年度からの新たな取組

・歯周病と循環器疾患との関連を啓発【熊本市歯科医師会】

【行 政】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:発症予防・早期発見)

・特定健診・特定保健指導対象者に受診勧奨を実施。高血圧の受診勧奨対象者の通知に生活習慣病リーフレットを同封【国保年金課、各区保健こども課】

(施策2:重症化防止)

・Ⅱ度高血圧の要治療者に対して通知や電話、家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施【国保年金課・各区保健こども課】

(施策3:推進体制の整備)

—

2 令和6年度からの新たな取組

(施策2:早期発見)

・特定健診結果から受診勧奨対象者を追加し受診勧奨を実施【国保年金課】

(3) 糖尿病対策

【関係団体】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:発症予防)

- ・「まちの保健室」の活動で生活習慣病予防について情報提供及び健康相談を行った【熊本県看護協会】
- ・研修会を開催して熊本地域糖尿病療養指導士を養成。継続研修も開催【熊本市薬剤師会】

(施策2:早期発見)

- ・職場において定期健康診断を受診し、検診指摘後のフォローを行っている【熊本県看護協会】
- ・35歳以上の被保険者を対象に、特定健診にがん検診項目を含む「生活習慣病予防健診」を実施。40歳以上の被扶養者を対象に特定健診を実施【全国健康保険協会熊本支部】

(施策3:重症化防止)

- ・各薬局にて糖尿病の重症化リスク、合併症等の説明、血糖コントロールの重要性の周知【熊本市薬剤師会】
- ・医療機関未受診者に受診勧奨を実施【全国健康保険協会熊本支部】

(施策4:推進体制の強化)

—

2 令和6年度からの新たな取組

- ・糖尿病と歯周病の関係の啓発と、重症化を防ぐための歯周病治療への取組【熊本市歯科医師会】

【行 政】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:発症予防)

- ・「世界糖尿病デー」に合わせ糖尿病予防に関する展示、SNS等での情報提供を実施【健康づくり推進課】
- ・糖尿病の受診勧奨通知に糖尿病と専門医の情報を記載した生活習慣病リーフレットを同封【国保年金課】
- ・地域における糖尿病予防の啓発【各区保健こども課】

(施策2:早期発見)

- ・特定健診・特定保健指導対象者に電話・ハガキ・SMSによる受診勧奨を実施【国保年金課】
- ・地域における特定健診の啓発・受診勧奨【各区保健こども課】

(施策3:重症化防止)

- ・糖尿病の未治療者等に対して通知や電話、家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施【国保年金課】

(施策4:推進体制の強化)

—

2 令和6年度からの新たな取組

(施策1:発症予防)

- ・糖尿病の予防や健康に関する知識の普及を図ることを目的とした健康教育を実施【東区保健こども課】

(施策2:早期発見)

- ・特定健診結果から受診勧奨対象者を追加し、通知による受診勧奨を実施【国保年金課】

(4) CKD対策

<p>【関係団体】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要</p> <p>(施策1:発症予防)</p> <ul style="list-style-type: none">・「まちの保健室」の活動で生活習慣病予防について情報提供及び健康相談を行った【熊本県看護協会】・CKDの研修会に参加し正しい知識を取得し、普及啓発を図っている【熊本市薬剤師会】 <p>(施策2:早期発見)</p> <ul style="list-style-type: none">・職場において定期健康診断を受診し、検診指摘後のフォローを行っている【熊本県看護協会】・35歳以上の被保険者を対象に、特定健診にがん検診項目を含む「生活習慣病予防健診」を実施。40歳以上の被扶養者を対象に特定健診を実施【全国健康保険協会熊本支部】 <p>(施策3:重症化防止)</p> <ul style="list-style-type: none">・各薬局にて特定健診や定期健診の結果に応じて医療機関受診勧奨や必要な助言を実施【熊本市薬剤師会】・医療機関未受診者に受診勧奨を実施【全国健康保険協会熊本支部】 <p>(施策4:推進体制の強化)</p> <p>—</p> <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組</p> <p>(施策3:重症化予防)</p> <ul style="list-style-type: none">・糖尿病と歯周病の関係の啓発とCKD発症につながらないような歯周病治療への取組【熊本市歯科医師会】・糖尿病等病状に応じた支援について学習し、関係機関と連携した在宅療養支援を行う【熊本県看護協会】
<p>【行 政】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要</p> <p>(施策1:発症予防)</p> <ul style="list-style-type: none">・熊本大学腎臓内科及び腎臓病療養指導士連絡協議会との共催によりCKDの予防に関する啓発を実施。世界腎臓デーにCKD予防の情報提供を実施【健康づくり推進課】・地域におけるCKD予防に関する啓発【各区保健こども課】 <p>(施策2:早期発見)</p> <ul style="list-style-type: none">・地域における特定健診の啓発・受診勧奨【各区保健こども課】 <p>(施策3:重症化防止)</p> <ul style="list-style-type: none">・要治療者に対して通知や電話、家庭訪問による受診勧奨・保健指導を実施【国保年金課・各区保健こども課】 <p>(施策4:推進体制の強化)</p> <ul style="list-style-type: none">・CKD対策病診連携システムの推進を図るために、医師を対象に研修会を開催【健康づくり推進課】 <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組</p> <p>—</p>

3 健康になれるコミュニティづくり

成果指標の今回(令和6年度時点判明)と前回(令和5年度時点判明)の比較

改善	5	維持	0	悪化	1	合計	6	改善率	83.3%
----	---	----	---	----	---	----	---	-----	-------

(1) 校区単位の健康まちづくり

<p>【関係団体】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要 (施策1:市民・関係機関・行政との協働による健康まちづくりの推進) ・東区の健軍健康フェスタに参加し、薬剤師会ブースにてお薬相談を受付【熊本市薬剤師会】 ・本市生涯スポーツの進行を図るために親子スポーツ大会を開催【熊本市スポーツ推進委員協議会】 ・「あぐりキッズスクール」を開催し、小学生と保護者が農や食の大切さを体験【熊本市農業協同組合】</p> <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組 ・要請があれば歯科健康講座等への講師派遣【熊本市歯科医師会】</p>
<p>【行 政】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要 (施策1:市民・関係機関・行政との協働による健康まちづくりの推進) ・令和6年度の校区単位の健康まちづくり(第2期)のスタートに向け、各区の活動方針を改定。関係職員の知識向上のため、職員向け研修会を開催【健康づくり推進課】 ・地域組織および関係機関と校区健康カルテ等を用いて校区の健康課題を共有。関係機関との会議等を実施し地域組織との協働による取組を実施【各区保健こども課】</p> <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組 ・「健康まちづくり事例発表会・市民講演会」を開催【健康づくり推進課】 ・動画による健康課題の周知及び若い世代からの生活習慣病予防の啓発【西区保健こども課】</p>

(2) 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援

【関係団体】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:ボランティアの育成・支援)

- ・食生活改善推進員養成講座の受講生の開拓、行政が行う養成講座への協力【熊本市食生活改善推進員協議会】
- ・コロナ禍による協議員の士気を低下させないため、イベント等で体操や体力測定等を行い楽しい生活と生きがいを実感してもらった【東区健康まちづくり推進員協議会】

(施策2:ボランティア支援体制の充実等)

- ・熊本城マラソンのボランティアとしての活動【熊本市スポーツ推進委員協議会】
- ・熊本城マラソンで「おもてなし隊」として完走したランナーへ味噌汁の配布【熊本市農業協同組合】

2 令和6年度からの新たな取組

—

【行 政】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:ボランティアの育成・支援)

- ・食生活改善推進員養成講座、8020推進員養成講座等を実施【健康づくり推進課、各区保健こども課】
- ・「介護予防サポーター」を養成しその活動を支援【高齢福祉課】

(施策2:ボランティア支援体制の充実等)

- ・食生活改善推進員、熊本市8020健康づくりの会の活動を支援【健康づくり推進課、各区保健こども課】
- ・介護予防サポーターを対象に講座を開催しスキルアップを支援【高齢福祉課】

2 令和6年度からの新たな取組

—

(3) 企業・大学等の健康づくり活動の促進

【関係団体】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:職場における健康づくり)

・事業所が健康経営に取り組むことを宣言する「ヘルスター健康宣言」事業を推進【全国健康保険協会熊本支部】

(施策2:産学公民の連携による健康づくり)

・健診結果及び問診結果等を事業所ごとに見える化した「事業所カルテ」の展開【全国健康保険協会熊本支部】

・大学の学食で食育イベント等を開催し、若い世代へ食育の重要性を啓発した【熊本市食生活改善推進員協議会】

2 令和6年度からの新たな取組

(施策1:職場における健康づくり)

・要請があれば検診等への協力【熊本市歯科医師会】

・加入事業所への無料の出前講座を実施しており、内容は「食事」を含む複数のテーマから選択でき、令和6年度6月の開始から9月末までに、「食事」を希望した7社へ出前講座を実施【全国健康保険協会熊本支部】

【行 政】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:職場における健康づくり)

・食品関連事業者等が実施する食育活動を支援。企業等の従業員及びその家族へのがん予防及びがん検診の情報提供を実施【健康づくり推進課】

(施策2:産学公民の連携による健康づくり)

・イオンでの健康測定会。花王によるプレパパママ教室【中央区保健こども課】

2 令和6年度からの新たな取組

(施策2:産学公民の連携による健康づくり)

・大学生対象の健康づくりのワークショップ開催【中央区保健こども課】

(4) こころの健康づくり

<p>【関係団体】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要 (施策1:早期発見や啓発等)</p> <ul style="list-style-type: none">・熊本シティエフエム放送健康サロンにてうつ病のテーマでアナウンスした【熊本県看護協会】・スクールカウンセラーの佐藤佳志子氏による講演会を壺川小で実施【熊本市PTA協議会】・「熊本こころの健康アドバイザー制度」の周知と利用勧奨【熊本労働基準監督署】・障害の啓発、地域におけるメンタルヘルス相談対応等【熊本市障がい者相談支援センターウィズ】・熊本産業保健総合支援センター相談窓口の周知広報。事業所向けセミナーの実施【全国健康保険協会熊本支部】 <p>(施策2:子どもたちのこころの健康)</p> <ul style="list-style-type: none">・画図小で講演会「命の授業 ドリー夢メーカーと今を生きる」を開催【熊本市PTA協議会】・児童思春期のメンタルヘルスに関する相談対応【熊本市障がい者相談支援センターウィズ】 <p>(施策3:自殺対策)</p> <ul style="list-style-type: none">・希死念慮等のメンタルヘルス相談対応【熊本市障がい者相談支援センターウィズ】 <hr/>
<p>2 令和6年度からの新たな取組 (施策2:子どもたちのこころの健康)</p> <ul style="list-style-type: none">・スクールソーシャルワーカー(SSW)との連携【熊本市障がい者相談支援センターウィズ】・小学校高学年児童を対象とした、生活習慣病予防等の啓発媒体を作成【全国健康保険協会熊本支部】
<p>【行 政】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要 (施策1:早期発見や啓発等)</p> <ul style="list-style-type: none">・こころの健康づくり講演会を実施。心の健康相談を実施。【こころの健康センター、各区保健こども課】・精神障がい者地域生活移行支援部会等に参加し情報交換【中央区保健こども課】・精神的問題や育児不安等を抱える妊産婦に、産科医療機関と連携し妊娠期から出産後切れ目ない支援を行っている。妊婦、産後うつ等の産婦への訪問等、支援を早期に実施【南区保健こども課】 <p>(施策2:子どもたちのこころの健康)</p> <ul style="list-style-type: none">・思春期精神保健福祉研修会を教育・医療・福祉関係者を対象に実施【こころの健康センター】・精神的問題等を抱える妊産婦に産科医療機関と連携し妊娠中から訪問等を実施【西区保健こども課】・SC、心のサポート相談員を配置するとともに、SSW、ユア・フレンドを派遣【総合支援課】 <p>(施策3:自殺対策)</p> <ul style="list-style-type: none">・精神科医・弁護士等による包括相談会や各種研修会を実施。また自殺予防週間にあわせて時間を延長し、電話相談を実施。また、SNSを活用したこころの悩み相談や相談窓口に関する周知を実施。その他、自死遺族グループミーティングや自殺未遂者支援事業等も実施【こころの健康センター】・障がい保健福祉ネットワーク連絡会等に参加し、情報交換、事例検討を実施【西区保健こども課】 <hr/>
<p>2 令和6年度からの新たな取組 (施策2:子どもたちのこころの健康)</p> <ul style="list-style-type: none">・保護者やこどもに関わる支援者向けの講演会を実施【こころの健康センター】・こどもホットラインによる相談対応やNPO法人と連携した24時間365日相談可能なチャット相談を行い、こどもの悩みや権利に関する相談を受け、解決に向けて取り組む【こどもの権利サポートセンター】 <p>(施策3:自殺対策)</p> <ul style="list-style-type: none">・教職員向けのゲートキーパー養成研修を実施【こころの健康センター】

4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

成果指標の今回(令和6年度時点判明)と前回(令和5年度時点判明)の比較

改善	3	維持	0	悪化	2	合計	5	改善率	60.0%
----	---	----	---	----	---	----	---	-----	-------

(1) こどもの健康づくり

<p>【関係団体】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要</p> <p>(施策1:早産予防)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会を開催し、助産実践能力強化と資質向上に向けた支援を行った【熊本県看護協会】 <p>(施策2:子どもの健康的な生活習慣の獲得)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊大附属小で熊本県助産師会の余湖奈美氏が包括的な性教育を講演【熊本市PTA協議会】 ・学校薬剤師が「早寝早起き朝ごはん」について講演。学校保健委員会に参加し助言【熊本市薬剤師会】小で「子どもは未来の宝もの」と題した講演会を実施【熊本市PTA協議会】 ・各区保健子ども課と連携を図り、児童虐待防止に務めた【熊本市私立幼稚園・認定子ども園協会】 <p>(施策4:思春期等への支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県下の高校・中学校・小学校に性教育出前授業を実施【熊本県看護協会】 <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯周病と早産の関係啓発。歯周病治療による早産予防。子供の虫歯罹患率減少の取組【熊本市歯科医師会】
<p>【行 政】</p> <p>1 令和5年度の主な取組概要</p> <p>(施策1:早産予防)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子(母子)健康手帳交付時に早産予防および妊娠期の異常の早期発見・対応についての保健指導を行い、妊婦健康診査受診票を交付【こども支援課】 ・母子手帳交付時に妊娠期の健康づくり、幼児健診時に生活リズムについて啓発【各区保健子ども課】 <p>(施策2:子どもの健康的な生活習慣の獲得)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市医師会と連携した小児生活習慣予防検診及び小児生活習慣病予防検診説明会を実施。さらに「生活習慣改善啓発パンフレット」と「健康手帳」を教育委員会が作成し、各学校で活用【健康教育課】 ・市立保育園の調査を行い肥満・やせ等の状況把握等に基づき啓発を実施。生活リズムや感染症予防、健康に関して情報発信。健康診断や身体測定等を行い発育・発達に応じて保育を実施【保育幼稚園課】 ・子育て支援ネットワーク、学校保健委員会等において、こどもの生活リズム等について情報共有。子育てサークル等でこどもの生活習慣・生活リズムについて健康教育を実施【各区保健子ども課】 ・生命の大切さや妊娠・出産等について考える機会として健康教育を実施【中央区保健子ども課】 <p>(施策3:情報発信・子育てしやすい環境づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター等の地域子育て支援拠点事業では、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育てに関する相談及び地域の子育て関連情報の提供を実施【こども支援課】 ・熊本市結婚・子育て応援サイトにおいて、子育てに役立つ情報を発信【こども政策課】 ・子育てネットワーク連絡会を開催【各区保健子ども課】 ・ワークショップ開催し子育て世代の防災ブック作成。校区の子育て支援ネットワーク会の実施。「駅前子育てひろば」を設置し健康教育や育児相談を実施【西区保健子ども課】 ・家庭訪問や子育てサークル等で健康教育を実施【南区保健子ども課】 <p>(施策4:思春期等への支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学3年生を対象としたエイズ・性感染症予防出前講座を実施。高校・専門学校へ専門医を派遣し、エイズ・性感染症予防講演会を実施等【感染症予防課】 ・特別支援学校の生徒を対象に健康教育及び体験学習を実施【東区保健子ども課】 <hr/> <p>2 令和6年度からの新たな取組</p> <p>(施策1:こどもの心身の健やかな成長と生活習慣の確立)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭センターにおける育児相談や幼児健診の相談、保健指導の強化。地域の子育て支援関係機関との連絡調整、連携、協働の体制作り【こども支援課】 <p>(施策2:子どもの健康的な生活習慣の獲得)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援アプリを導入し健康情報や居住地の子育て支援情報等の提供【こども支援課】

(2) 女性の健康づくり【新規】

【関係団体】

1 令和6年度からの新たな取組

(施策1:女性特有の疾患についての啓発)

・助産師を対象とした研修会を通して、女性の健康づくりを支援する【熊本県看護協会】

(施策2:骨粗鬆症についての啓発)

・被扶養者を対象とした特定健診の集団健診において、骨密度検査を実施【全国健康保険協会熊本支部】

【行 政】

1 令和6年度からの新たな取組

(施策1:女性特有の疾患についての啓発)

・女性の健康情報を提供するウェブサイト「女性の健康推進室ヘルスケアラボ」の周知啓発を実施【健康づくり推進課】

(施策2:骨粗鬆症についての啓発)

・骨折評価ツール「FRAX®」を活用した市民への啓発を実施【健康づくり推進課】

・骨粗鬆症予防教室の実施。地域における骨粗鬆症予防の啓発・骨密度測定の実施【東区保健こども課】

・若い世代の女性に向けて骨粗鬆症予防についての啓発を実施【南区保健こども課】

(3) 働き盛り世代の健康

【関係団体】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:若いころからの健康意識の醸成)

- ・東区健軍商店街の健康フェスタに参加し健康やお薬の相談を受付【熊本市薬剤師会】
- ・園児や保護者に対して家庭での生活や食事のあり方を周知【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】

(施策2:生活習慣病の発症予防)

- ・内科検診や歯科検診で疾病やむし歯等の早期発見に努めた【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
- ・定期健康診断結果を反映した生活習慣病予防等の健康保持増進を指導【熊本労働基準監督署】
- ・熊本商工会議所等と連携し、会報誌への健診受診の記事を掲載。事業所が健康経営に取り組むことを宣言する「ハルスター健康宣言」事業を推進【全国健康保険協会熊本支部】

(施策3:働き盛り世代のこころの健康)

- ・職場のメンタルヘルスケア対策等の研修会開催【熊本県看護協会】
- ・各区役所と連携を図り園児の健康相談はじめ児童虐待防止に務めた【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
- ・事業場におけるストレスチェックの確実な実施を監督指導【熊本労働基準監督署】
- ・熊本産業保健総合支援センター相談窓口の周知広報。事業所向けセミナーの実施【全国健康保険協会熊本支部】

2 令和6年度からの新たな取組

(施策1:若い世代からの健康意識の醸成)

- ・歯科の受診率が低い世代なので効果的な受診勧奨【熊本市歯科医師会】
- ・園児の健康維持のための園での取り組みを園だより等で周知【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】

3 感染症に配慮した新たな取組

- ・手足口病や感染性胃腸炎にかかる園児が増えてきており、保護者への情報提供と園の取り組み内容(手洗いの励行など)を知らせてきた【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】

【行 政】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:若いころからの健康意識の醸成)

- ・地域における生活習慣病予防の啓発【各区保健こども課】

(施策2:生活習慣病の発症予防)

- ・特定健診対象者へ送付した受診券の同封文書においてがん検診も含め受診勧奨を行うとともに、特定健診・特定保健指導対象者に電話・ハガキ・SMSによる受診勧奨を実施【国保年金課】
- ・地域における特定健診・がん検診の啓発・受診勧奨【各区保健こども課】
- ・九州森林管理局での栄養講話の実施及び健診受診の勧奨。幼児健診時等での啓発動画の視聴により、子育て中の若い世代に西区の健康課題や健康情報を発信【西区保健こども課】

(施策3:働き盛り世代のこころの健康)

- ・講演会の開催やパンフレット配布、市政だより、ホームページを活用した啓発、市民へのこころの健康づくり講演会やストレスに関する講話を実施【こころの健康センター】

2 令和6年度からの新たな取組

(施策1:若い世代からの健康意識の醸成)

- ・動画による健康課題の周知及び若い世代からの生活習慣病予防の啓発【西区保健こども課】

(施策2:生活習慣病の早期発見・発症予防)

- ・区民課国保窓口と連携し特定健診のチラシを用いた特定健診受診勧奨、年度途中加入者への特定健診受診券発行に取組む【国保年金課】

(4) 高齢者の健康づくり

【関係団体】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:元気高齢者の増加)

- ・高齢者のフレイル予防をテーマに研修会・交流会を開催【熊本県看護協会】
- ・イベントで技工物の相談を通じてメンテナンス方法などのアドバイスを実施【熊本市歯科技工士会】
- ・「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」の周知及び実施勧奨【熊本労働基準監督署】
- ・管内、13グループによるミニデイサービスを実施【熊本市農業協同組合】

(施策2:介護予防)

- ・「高齢者の暮らしを支える看護職連携・多職種連携の実際」について研修を開催【熊本県看護協会】
- ・ささえりあ主催の地域連携会議に参加し、介護各職種と連携【熊本市薬剤師会】
- ・運動・口腔・栄養を踏まえ、介護予防のための研修会の開催【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
- ・行政や他機関との協働によりサロン継続支援【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】

(施策3:認知症高齢者支援)

- ・認知症の人や家族を支えるための看護職員認知症対応向上研修(マネジメント編)を開催【熊本県看護協会】
- ・各薬局にて認知症高齢者やその家族の相談を受付【熊本市薬剤師会】
- ・認知症予防教室の開催【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】

2 令和6年度からの新たな取組

(施策1:高齢者の健康づくり)

- ・オーラルフレイルの啓発と予防への取組【熊本市歯科医師会】
- ・通いの場の継続や創出を行い積極的な社会参加を促す。自立支援型地域ケア会議にて自助・互助へ働きかける【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】

【行 政】

1 令和5年度の主な取組概要

(施策1:元気高齢者の増加)

- ・「目標到タツ！運動手帖-転倒・骨折予防編-」を作成し配布。65歳以上でも取り組める運動プログラムを活用した健康教室を公民館等で開催。「介護予防サポーター」を養成しその活動を支援【高齢福祉課】
- ・地域における介護予防・ロコモティブシンドローム予防・フレイル予防の啓発【各区保健こども課】
- ・ローソン移動販売車に啓発ステッカーを貼り高齢者の低栄養予防の啓発を実施【西区保健こども課】

(施策2:介護予防)

- ・「くまもと元気くらぶ」の新規立ち上げや活動費を支援。住民主体の通いの場にリハビリ専門職を派遣。運動機能の低下等が認められた方に対し、リハビリ専門職等による支援を実施【高齢福祉課】

(施策3:認知症高齢者支援)

- ・認知症サポーター養成講座を開催し養成するとともにチームオレンジの立ち上げを支援。認知症コールセンターで認知症の人や家族からの相談受付。熊本県と共同で認知症対応力向上研修を開催【高齢福祉課】

2 令和6年度からの新たな取組

- ・運動プログラムを活用した健康教室について参加対象年齢を「50歳以上」に引き下げ。「認知症キッズサポーター養成講座」において、マスコットキャラクターのグッズを作成し配布【高齢福祉課】

資料 3

各部会説明資料

部会名	令和6年度健康くまもと21推進会議 がん部会		
開催日時	令和6年10月24日(木) 10:00~11:30	場所	市役所10階会議室(庁内推進委員は Teams オンライン参加)
出席委員 (五十音順・敬称略)	大森 久光、福留 隆史、渡辺 猛士、渡邊 信子 (4名)		
議題1	熊本市のがん検診受診率向上の取組について		審議 : 済
	主な質疑応答	<p>【質疑1】 このデータは市のがん検診以外の検診は入っていないのか。</p> <p>【応答1】 人間ドックなど市のがん検診以外の受診者は入っていない。</p> <p>【質疑2】 他の好事例のある政令市などはあるのか。</p> <p>【応答2】 費用をワンコインとしている市や、個別受診勧奨を行っている市は受診率が高い。</p> <p>【ご意見】 市政だよりや回覧板では自分が対象だと思わない方もいらっしゃるため、個別受診勧奨の効果が高いと思う。</p>	
議題2	関係機関等によるがん検診受診率向上の取組について		審議 : 済
	主な質疑応答	ご出席委員から各団体の取組状況についてご説明いただき、質疑無し	
議題3	がん検診個別受診勧奨の資材について		審議 : 済
	主な質疑応答	<p>【ご意見】 仕事をしている人は、仕事を理由にがん検診などを受診していない方が多い印象がある。職場での健康診断に含まれないがん検診などの受診については、経営者の意識が重要。従業員が検診受診のための時間を確保できるような取組があるとよい。</p> <p>【質疑1】 HPV ワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)については副反応の情報によってワクチン接種していない人も多いようであるため、啓蒙に力をいれていただきたい。</p> <p>【応答1】 これまでもHPVワクチン接種について取り組んできたが、今後も啓蒙に努めていく。</p>	

		<p>【質疑 2】 副反応に関する情報提供はどのように行っているのか。</p> <p>【応答 2】 HPV ワクチンに限らず、予防接種については効果と合わせて副反応などのリスクについても広報を行っている。接種される方が判断できるよう、適切な情報提供に継続して努めていく。</p>
--	--	---

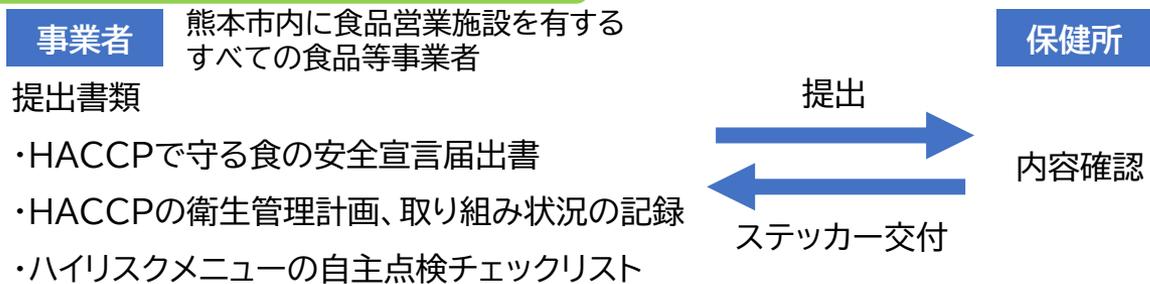
部会名	令和6年度健康くまもと 21 推進会議 食の安全安心・食育部会		
開催日時	令和6年8月22日(木) 14:00~16:00	場所	ウェルパルクまもと3階すこやかホール(庁内推進委員は Teams オンライン参加)
出席委員 (五十音順・敬称略)	石橋素子、岩男慎治、國徳健二、河野由美、古賀久美子、榮田修治、高田志保、東野裕子、中村好郎、長濱一弘、平川恵子、三浦勲、守田真里子、山田浩一、和田史郎(15名)		
報告1	第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画 「食の安全安心の確保」の実施結果について	報告 : 済	
	主な意見	湧き水などに起因する体調不良の発生があったため、熊本の水の検査もしっかりして、結果を公表して欲しい。	
報告2	第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画 「食育の推進」の実施結果について	報告 : 済	
	主な意見	意見なし	
議事1	第4次熊本市食の安全安心・食育推進計画 「食の安全安心の確保」の取組について	審議 : 済	
	主な質疑 応答	<p>【質疑1】 新規事業「HACCP 取組宣言事業」について届出後の有効期間は。再度届出が必要か。</p> <p>【応答1】 制度の内容は検討中。届出後の取り組み状況の確認については業者の負担等も考え、定期的な監視や立ち入りの際に実施する方向。その際、取組が十分でない事業者には、交付したステッカーの返還を求めることを検討中である。</p> <p>【質疑2】 HACCP を実施し記録に残すとあるが、小さな飲食店でそれができるのか。</p> <p>【応答2】 記録を取ることの難しさが、HACCP が定着しない大きな要因の一つであると考えている。調理しながらではなく、後で記録をとれば良いと説明はしているが、業者に対してもう少し丁寧に説明していく。</p> <p>【質疑3】 行政の取組により、食の安全安心が守られているということをもっと市民へ積極的にアピールする必要があるのではないか。</p> <p>【応答3】 ホームページ等で公表はしているが、市民に届きづらい面もある。第4次食の安全安心・食育推進計画では安全性の見える化によりいっそう取組んでいきたい。</p>	

	<p>第 4 次熊本市食の安全安心・食育推進計画 「食育の推進」の取組について</p>	<p>審 議 : 済</p>
<p>議事2</p>	<p>主な質疑 応答</p>	<p>【質疑1】 新規の「いきなり団子プロジェクト」。是非、このような事業を継続していただきたい。 デジタル食育で、食生活改善推進員のいきなり団子の YouTube 再生回数が凄い。是非、この部分もPRしていただければと思う。</p> <p>【応答 1】 「いきなり団子プロジェクト」は、3 局合同の食育庁内検討会から出てきた新規事業。食生活改善推進員の郷土料理のスキルと、子ども達の食育体験、郷土料理の継承をマッチングした良い事業である。希望校も多く、次年度に向けて事業を広く活用していただけるよう、検討していきたい。</p> <p>【質疑2】 どうして「いきなり団子」を選んだのか。</p> <p>【応答2】 いきなり団子は、作らずに購入することが多い郷土料理であるが、実際は簡単につくることができることを伝えるためと、ネーミングの良さから選んだ。熊本のごはんレシピ集から、いきなり団子ともう一品を調理する。</p> <p>【部会長より】 いきなり団子は名物の郷土料理なので、地元のことを知ってもらい、地元の特徴を付け加えていくことができれば、更に郷土料理の伝承に繋がるのではと思う。</p> <p>【質疑3】 CKD(慢性腎臓病)の患者数について 以前は成人の 8 人に 1 人と聞いていたが、先日の会合で 6 人に 1 人と聞いた。私達は、「塩分を控えましょう」等の啓発活動を実施してきたが、実際患者数は増加しているのか。</p> <p>【応答3】 直近の学会報告では、5 人に 1 人になったとのこと。それに基づき本市も要綱を改正し、啓発する予定。ご指摘のとおり CKD 患者数は増えている。</p>

概要

HACCPに沿った衛生管理を積極的に実施している食品等事業者が「食の安全宣言」を行い、その事業者に対してステッカーを交付する事業。HACCPに取り組む飲食店等を明らかにすることで、市民が安心して飲食店等を選択できるようにするもの。また、市民によるHACCP取組への期待が、事業者の取組意欲の向上に結び付き、結果として市内飲食店等の衛生水準の向上につながる効果を期待している。

HACCPで守る食の安全宣言



食の安全宣言ステッカー(店頭掲示見本)

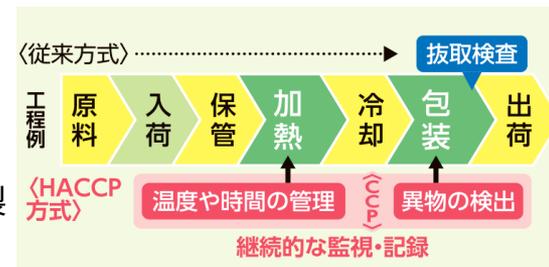


■ハイリスクメニューの自主点検

ハイリスクメニュー	リスク	管理方法
生食用魚類(刺身など)	アニサキスやクドアなどの寄生虫による食中毒	・原則、凍結処理(-18℃以下、24時間)を行う
焼鳥、ハンバーグ、ジビエなど	カンピロバクターや腸管出血性大腸菌、サルモ	・中心部温度が75℃、1分と同等以上の加熱
の肉料理、客が自ら焼く焼肉	ネラ等による食中毒	・客が自ら肉を焼く場合は十分な加熱と箸等の使い分けを説明する

HACCPとは

原材料の入荷から、製造、出荷までのいくつかの工程で衛生管理をチェックする方法。それぞれの工程ごとに食中毒の原因菌による汚染等のリスクを把握した上で、特に重要なポイントを定めて重点的に管理するもの。これまでの最終製品の抜き取り検査に比べて、より効果的に製品の安全性を確認することができる。



概要

熊本市内の小中学生及びその保護者を対象に、郷土料理教室等を開催し、次世代を担うこども達へ熊本の食文化を伝承するとともに、こども達と地域ボランティアの世代間交流の場をつくる。令和6年度からの新規事業で、熊本市食生活改善推進員協議会への委託事業。

目的

1. 熊本の郷土料理を小中学生及びその保護者へ普及啓発を行い、家庭での食事に郷土料理を取り入れている市民の割合を増やす。
2. 地産地消や地域活性化につながる郷土料理の魅力を伝え、次世代への伝承を目指す。

内容



料理教室

対象:小学3年生から中学生

※保護者の参加も可

会場:小中学校の調理室

内容:郷土料理のお話と調理実習

(いきなり団子と郷土料理1品)

資料:「熊本のごはん」レシピ集

イベント啓発

地域で行われる、イベント等での啓発

内容:①いきなり団子の試食提供

または郷土料理の展示

②「熊本のごはん」レシピ集配布

③参加者アンケートの実施

実施状況



【料理教室】

応募・実施状況:16校(小学校10、中学校6) 45クラス より応募あり

➡抽選により、7校(小学校4校、中学校3校)20クラスで実施

実施期間:令和6年9月から令和7年2月の期間で実施

【イベント啓発】

実施状況:東区区民祭、北区こどもまつり等、8イベントで1000名以上に啓発



部会名	令和6年度 第1回 健康くまもと21推進会議 歯科保健部会		
開催日時	令和6年8月23日(金) 14:00~16:10	場所	市役所 10 階会議室(庁内推進委員は Teams オンライン参加)
出席委員 (五十音順・敬称略)	石橋素子、岩男慎治、古賀久美子、佐藤成美、田上敬祐、永田智恵子、永野智子、中村好郎、中山秀樹、濱田泰之、平川恵子、古川直枝、巻章子、山田浩一、米村和広、渡辺猛士(16名)		
議事1	各団体及び行政の歯科保健に関する取組状況 (令和5年度)		審議 : 済
	主な意見質疑	<p>【質疑1】 「障がい児(者)入所施設での定期的な歯科検診実施率」が令和5年度に下がっている理由はなにか。また、アンケートの回答率はどうだったのか。</p> <p>【応答1】 令和5年度に施設に対しアンケートを実施した。そこでお返事をいただいた中で定期的に歯科検(健)診を実施しているところが38.5%だった。アンケートは17施設中、13施設から回答いただいた。国が指標にしている施設の種類が入所施設であり、その中で回答率が低いと実施率についても低くなる可能性がある。</p>	
報告1	第3次熊本市歯科保健基本計画の評価報告		報告 : 済
	主な質疑応答	<p>【質疑1】 8020達成率がアンケートと後期高齢者歯科口腔健診の結果に差がある。後期高齢者歯科口腔健診は受診率が低いという状況であるが、その後期高齢者歯科口腔健診の結果とアンケートの結果はどちらが実態に則したものになるのか。</p> <p>【応答1】 後期高齢者歯科口腔健診の受診率は1.86%と低い。これについては国保年金課とも協議をしていきたい。また、市民アンケートについてはどうしても回答率の問題がある。今後検討していきたい。</p>	
議事2	第4次熊本市歯科保健基本計画(第3次健康くまもと21基本計画第7章)の紹介及びアクションプラン案の検討		審議 : 済
	主な質疑応答	<p>第1期アクションプラン(R6~9)の内容について以下のとおり意見交換を行った。</p> <p>【質疑1】 市歯科医師会から「妊婦歯科健診時に母子双方についての歯科疾患に関する啓発を行うよう努める」とあるが、どのようにされるのか。</p> <p>【応答1】 妊婦の歯と口腔の現状や気をつけることを伝えたり、生まれてくる赤ちゃんがむし歯にならないようどういう行動をとると良いかということ伝えていきたいと思う。</p> <p>【ご意見1】 歯科衛生士会では、啓発チラシとして歯周病予防リーフレットを令和5年度</p>	

	<p>に作成した。妊婦も歯周病予防は大事だという内容を盛り込んでいる。これも調剤薬局に置いていただけたらと思う。また、妊婦歯科健診受診率が低下しているが、妊婦も仕事をしておりあらためて歯科医院に行く時間を確保するのは大変だと思う。職場から妊婦に歯科健診受診を勧めてほしい。</p> <p>【ご意見2】(保育所等におけるフッ化物洗口について) 園長に正しく理解してもらうように勧めたい。ブロックごとの園長会(5ブロック)を利用してほしい。保護者からもやめてくれと言われることもあるので、理解していただき洗口を実施する園児数も増やしていきたい。</p> <p>【ご意見3】 こどもの咀嚼力が弱っているのも、その点もアクションプランに入れることを考えていただきたい。よく噛むことでからだも強くなることも伝えていきたい。</p> <p>【質疑2】(小学校におけるフッ化物洗口について) 教育委員会はいかがか。</p> <p>【応答2】 事務局からも説明があったように、実施方法を協議し、しっかりと検討していきたいと考えている。</p> <p>【ご意見4】 フッ化物洗口については健康づくり推進課、各区保健子ども課、健康教育課や8020推進員さん等のおかげで実施できるようになって、ありがたい。学年拡大に関しては検討をお願いしたい。 また、各学校で学校保健計画をつくり、6月のむし歯予防デーや11月のいい歯の日などにおいて学校で指導している。8020推進員さんと一緒にしていけるところは一緒にしていきたい。</p> <p>【質疑3】 高校生などへの新たな啓発物を作成するのか。</p> <p>【応答3】 この世代に接する機会が少なく、8020推進員や食生活改善推進員が学校へ行くときなど啓発をお願いしたい。そのためにも新たな啓発資料を考えたい。</p> <p>【ご意見5】 全国健康保険協会の被扶養者に対して特定健診とがん検診の同時実施においてオプションで歯科健診をしていく。検診の場で意識も高まっているので、その場で歯科健診も実施していきたいと思う。 高齢期(74歳まで)も対象としているので、アクションプランの高齢期にも入れている。</p> <p>【質疑4】 アクションプランに載せた場合、実績などを報告するのか。</p> <p>【応答4】 取り組めたかどうかのお知らせをいただきたいと考えている。4年間を通して取り組んでいただくものになる。</p>
--	--

		<p>【質疑5】 行政の取組に「歯科検(健)診未実施の施設に対し、アプローチを行い、施設における歯科検(健)診の実施を促す」とあるが、どのようなものか。</p> <p>【応答5】 施設によっては協力医が歯科検(健)診をしているところもある。まずは施設の状況を把握し、年に1回施設においての歯科検(健)診を実施するためにはどうしたら良いか、考えているところである。</p> <p>【ご意見6】 栄養ケア・ステーションによる訪問栄養食事指導としているが、障がい児に対しての対応ができるスタッフを今年度から増やしていく予定である。4年間で整備できるようにしていく。</p> <p>【ご意見7】 校区によって活動状況がばらばらである。でも8020推進員になったからには活動を行い、そして活動を報告する場があると良いと思う。以前していた合同研修会をしてほしい。</p>
議事3	各団体及び行政の歯科保健に関する取組予定 (令和6年度)	審議 : 済
	主な質疑応答	質疑なし

部会名	令和6年度 第2回 健康くまもと21推進会議 歯科保健部会		
開催日	令和6年9月30日(月)	場所	書面開催
出席委員 (五十音順・敬称略)	石橋素子、岩男慎治、古賀久美子、佐藤成美、田上敬祐、永田智恵子、永野智子、中村好郎、中山秀樹、濱田泰之、平川恵子、古川直枝、巻章子、山田浩一、米村和広、和田史郎、渡辺猛士(17名)		
議事1	第3次健康くまもと21基本計画第7章 第4次熊本市歯科保健基本計画アクションプラン について	審議 : 済	
	主な意見質疑	<p>第1回のご意見をアクションプランに反映させ、改めて全委員に確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランについて、承認17人、不承認0人 ・質疑なし 	

取組紹介

- ・健康ポイント事業について

熊本健康アプリ「もっと健康！げんき！アップくまもと」

○各種健診の受診やウォーキング等、日々の健康づくり活動を「健康ポイント」として貯め、一定のポイント達成により抽選で賞品が当たるなどの仕組みにより健康行動の習慣化を図るための、スマートフォン専用アプリです。

○熊本市を含む20市町村で共同運用中。

○利用者数:94,885人(R7.1月末時点)
※うち熊本市63,460人



○機能内容

- ・ミッション(健診受診や健康イベント等に参加することでポイントを獲得)
- ・バーチャルコース(くまもと一周や日本一周など疑似的に現地まで歩いた体験ができる)
- ・くまもと図鑑(歩くことで参加市町村の特産品や名所のパネルを集める)
- ・スタンプラリー(指定のスポットを徒歩で巡りポイントを獲得)

など、楽しみながら毎日つづけられる機能を用意しています。

○イベント

- ・グループ対抗戦(家族や友人とグループを作り1人当たりの平均歩数を競う)
- ・上半期抽選会(9月にデジタルギフトが当たる抽選会を開催)
- ・年度末抽選会(商品券や宿泊券などの豪華賞品が当たる抽選会を開催)

など、賞品が当たることでさらに日々の活動をつづけるモチベーションを保つ企画をご用意し、多くの方にご好評いただいております。

令和7年度スケジュール(予定)

2025年								2026年			
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	なかよし対抗戦	・ポイント獲得期間 ・各市町村主催スタンプラリー等随時実施				上半期抽選会		職場対抗戦		年度末抽選会	新シーズンスタート



バーチャルコース



スタンプラリー



くまもと図鑑



43
上半期抽選会



グループ対抗戦



※賞品例